

土山秀夫推理小説集

あてどなき脱出

土 英雄

あてどなき脱出

土 英雄



衝撃の刊行！ 土山秀夫氏の未発表推理小説を初公開！

若き日の土山秀夫氏は「土英雄」のペンネームで推理作家を目指した。大御所江戸川乱歩から激賞され、作家への道をすすめられた。応募作品「深淵の底」は第一席に評価された。既刊短編4作を含む未発表の表題作を一挙掲載。反核・平和運動推進者のもうひとつの顔――。

長崎文献社

長崎文献社

◆江戸川乱歩氏からの手紙

私の手元に江戸川乱歩氏から差し戻されてきた原稿が保存されている。

「没」として突き返されたというよりも、氏による書き込みやこの点が不満であるといった感想など、温情味のある一種の添削原稿とさえいった。それは私に対してではなく、推理小説の新人発掘への並々ならぬ熱意の表れとして、原稿を手にする度に胸を打つ。(第一部「短編集」まえがきより)

カバーイラスト：柏本龍太

脱出 英雄

あてどなき脱出

土英雄



9784888511858



1920093012003

ISBN978-4-88851-185-8
C0093 ¥1200E

定価 1,200円(税別)

■土山秀夫(つちやまひでお)氏略歴
1925年長崎市生まれ。1952年長崎大学医学部卒業。1969年長崎大学医学部教授。
1982年～1988年長崎大学医学部長。1988年～1992年長崎大学長。
現在「世界平和アピール七人委員会」委員。長崎大学名誉教授。長崎平和宣言文起草委員。
国際会議「核兵器廃絶―地球市民集会ナガサキ」実行委員会顧問。長崎市名誉市民。
土英雄(つちひでお)のペンネームで、1947年推理小説専門誌「ロック」に公募当選作が掲
載されたのを皮切りに、約12年間に9作品を「宝石」誌などに発表していた。

短編一挙掲載

○深淵の底 ○影の部分 ○妄執 ○切断

◆「あてどなき脱出」あらすじ

舞台はナチスドイツの強制収容所。ここに日本陸軍731部隊の若い外科医宗像昭が共同研究のために送りこまれた。そこで宇宙開発ロケットの女性研究者のユダヤ人クリスティーナ・シュライパーと出会う。彼女のガス室送り目前の日に一計を案じて嚴重な警備をかいくぐって脱出を試みるのだが……。

長崎文献社

推理小説を初公開!

推理作家を目指した。
認められた。応募作品
を含む未発表の表題
の顔――。